

「チーム力試す絶好の機会」全国大会初出場へ

メディアファイブ(株)

ソフトボールチーム「福岡バクスターズ」



(前列左から) 高武憲久、古川健彦、重富正志、森脇勝利、重富剛史、田中孝之、山元智巳、濱田真理子(後列左から) 井上翔太、笠俊介、南里真人、草野将、田中和久、津田篤志、原田大輔、山平聖志、中尾賢太郎、青木真太郎



攻守において高い技術を見せた選手ら



「結成1年。まさか我々のチームが全国大会に進出できるとは…」と驚きを隠せない、ソフトウエア受託開発を手掛けるメディアファイブ(株)(福岡市中央区)の上野英理也社長。同社のソフトボールチーム「福岡バクスターズ」は、9月14日から3日間、群馬県前橋市で開催される第59回全日本総合男子選手権全国大会に初出場する。

5月に開催された市大会に13チームが出場。6月の県大会、九州地区予選会にそれぞれ16チームの強豪が顔を揃える中、順調に予選トーナメントの駒を進め、見事全国大会への切符をつかんだ。「比較的对戦相手にも恵まれ、チームの団結力が大いに発揮できた」と勝因を振り返る。

同チーム発足は2012年春。それまで前原市、早良区、城南区エリアの野球出身者で結成する「西福岡」として活動してきた同チームは、実力派選

手が多数在籍するにも関わらず、高いレベルでプレーできる場がなかったこと、さらに、上野社長自身が早良区出身で、40歳以上枠のチームに選手として所属していることから、「同地区のソフトボール振興につながれば」と創部した。選手は22人で平均年齢29歳。それぞれ日々の業務をこなしながら、練習に汗を流す。「チームも人づくりの一環。当社の事業が若手エンジニア育成に役立っていることもあり、若い人材が新たな目標に向かう姿が当社の研修制度に共通するようだ。できる限り支援していきたい」と上野社長。

1カ月後に迫った大会について「正直、優勝を狙える可能性は少ないが、全国レベルと戦うことで、今のチーム力を知ることができる。それを今後の練習に生かし、強いチームづくりの礎になれば」とさらなる高みを目指し、いざ出陣する。



(左から) 古川健彦キャプテン、森脇勝利監督、上野英理也社長、有吉満(壮年チーム)監督、福田和博(同)キャプテン

(取材/米村蘭子)